

地方創生 セミナー

CHIHOME NEWS

平成29年9月6日実施 地域金融機関による 国等の地域産業支援施策の積極的活用に向けて

1. 経緯

平成29年2月に始まった、「地域金融機関による国等の地域産業支援施策の積極的活用に向けて」と題したセミナー。金融機関には従来のビジネスモデルから、金融機関が顧客本位の良質な金融サービスを提供し、企業の生産性向上や国民の資産形成を助け、結果として、金融機関自身も安定した顧客基盤と収益を確保するという好循環、いわゆる「顧客との『共通価値の創造』」を目指すことが求められている中、**地方創生の観点から何か中小企業支援のため、財務局としてできることがないか**と考えたのがきっかけでした。

とはいえ、国等が進める中小企業支援施策は省庁も内容も様々。そこでまず、事前に金融機関に「顧客が利用して喜ばれた施策、今後使ってほしい施策」は何かを確認し、そのうえで、テーマを設定したセミナーを開催すれば金融機関の役に立てるのではないかと考え、このシリーズが始まりました。



(参考)

第1回：平成29年2月7日

『創業支援・平成29年度地域で利用可能な経済産業省予算』（近畿経済産業局）

第2回：平成29年4月14日

『雇用関係助成金・農業関連補助金・農業融資・農業参入支援』（大阪労働局、近畿経済産業局、農水省、日本政策金融公庫）

第3回：平成29年6月21日

『企業の海外進出・海外展開』（近畿経済産業局、JETRO大阪本部、中小機構近畿本部、JICA関西、INPIT）

2. 当 日

今回のテーマは「企業支援のための専門家相談・派遣事業、生産性向上への取組みについて」。近畿経済産業局及び中小企業整備基盤機構近畿本部から講師をお招きし、平成29年9月6日に実施いたしました！

当日は、日頃から中小企業者の経営支援に積極的に取組む金融機関の融資担当者等51名が参加しました。



<開会挨拶>

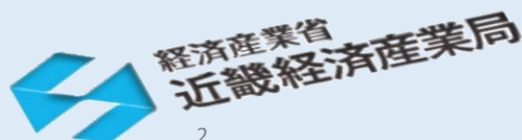
まず、当局を代表し、理財部次長の木村より「各省庁が工夫を凝らして地域経済を支える様々な施策を実施しているが、地域経済調査等において、企業から国の支援施策を十分に活用できていない、どのような施策があるのか分からないという声を聞き、国の支援施策がまだ十分に認知されていないのではと感じている。ついては、**地域の中小企業に寄り添う地域金融機関が持つノウハウと国の支援施策の両輪で地域経済を支えていく**ため、まずは地域金融機関と情報共有を図るとともに、金融機関においては、当セミナーで得た情報を是非現場で活用していただきたい」との開会挨拶で始まりました。



<第1部 施策説明会>

(1) よろず支援拠点について

近畿経産局中小企業課 中村課長補佐より、よろず支援拠点についてお話しいただきました。



○設置に至る背景

中小企業の課題や相談に対応する支援機関が複数存在するが、中小企業がどこに相談したら良いのかわからないとの声が多く聞かれたことから、適切な支援機関につなげる、売上拡大など高度な経営相談に対応できる相談機関が必要と判断され、平成26年6月に設置。

○概要・特徴

1. ワンストップ相談窓口

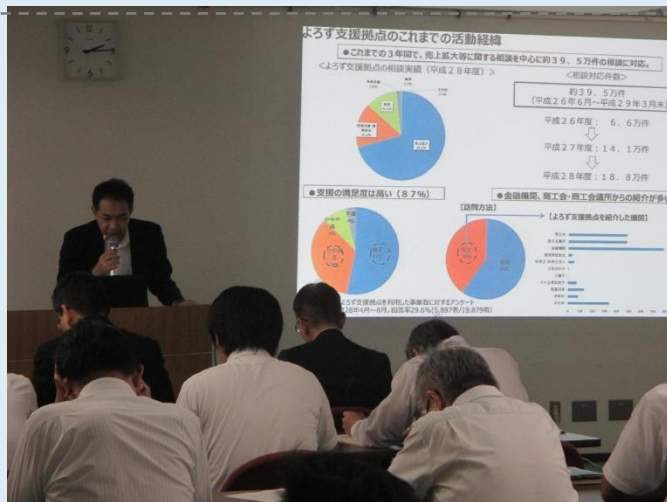
どこに相談すべきかわからない中小企業・小規模事業者が電話や訪問で**気軽に相談できる窓口**。相談内容に応じて、支援機関・専門家を紹介する等適切な支援者につなぐ。

2. 総合的・先進的経営アドバイス

中小企業・小規模事業者の相談内容に対し、**課題を分析し解決策を提示**、その後のフォローアップを実施。

3. 適切なチーム編成

中小企業・小規模事業者の課題に応じて、複数の支援機関、公的機関、企業OB等の「支援専門家」や大学、企業等との**適切な支援チームを編成**し、支援。



○実績・アンケート結果

過去3年間で売上拡大等に関する相談を中心に約39.5万件の相談に対応。利用事業者へのアンケートの結果では**87%が満足**と答えていることや、金融機関からの紹介でよろず支援拠点を訪問した企業が多いことがわかる。

○ミラサポを活用した普及・広報

情報が分かりにくい、遅いという声に対し、支援ポータルサイト「**ミラサポ（中小企業・小規模事業者の未来をサポート）**」を活用した国や自治体の施策の一体的な情報提供を行う。サイト来訪者数413万、メルマガ登録者数9万7千の状況（平成29年5月31日時点）。

（2）小さな卓越企業発掘&育成プログラムについて

中小機構近畿本部 能登課長代理にまずはプログラムの概要を説明いただきました。

○プログラム開始の経緯

金融円滑化法終了時に近畿財務局が中小企業約200社に対し、金融機関に今後求める事項をアンケートしたところ、各種施策の案内のほか、**金融機関自身の目利き力・経営支援力の向上を求める声が寄せられたことが契機となり、平成26年に近畿経済産業局、中小機構、近畿財務局の連携企画である本プログラムが立ち上がった。**

○本プログラムのスキーム

金融機関に企業を紹介していただきその企業に**中小機構の専門家が派遣訪問**。訪問時に経営課題を抽出・整理し、その企業に適した**支援施策の活用を提案**する。その際、金融機関の担当者も同席していただき、中小企業の支援策の活用方法をOJTで身につけてもらい、支援力向上を図る。

専門家の派遣は数か月から1年以内の派遣で、支援を受ける中小企業は派遣費用の1/3相当額を負担（残りの2/3は中小機構が負担）してもらおうが、専門家の交通費は全額中小機構が負担としているのも特徴。



過去3年間の実績

年度	金融機関	紹介企業数
26	9	27
27	11	55
28	12	31

また後半は、中小機構近畿本部 植田プロダクトマネージャーより、当プログラムによる支援事例を紹介いただきました。事例紹介の中で、中小機構に企業を紹介した兵庫信用金庫業務部経営サポート室の後藤推進役にもご登壇いただき、**対談形式で、中小機構活用に至る経緯や、金融機関による中小機構の活用にかかる事例をご紹介**いただきました。

本セミナーで対談形式は初の試みでしたが、実際に申請した際の流れに沿って、その時々のお考えをお話しいただいたので、参加者からは非常にわかりやすいと特に好評でした。



(3) IT等を活用したサービス産業の生産性向上について

近畿経産局 サービス産業室 吉田総括係長よりIT等を活用したサービス産業の現状や、生産性向上に向けた施策についてご説明いただきました。

○サービス産業の現状と課題

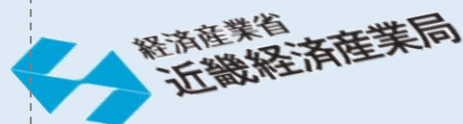
サービス産業はGDPベースで約75%を占め、規模が拡大傾向にあるが、労働生産性が低く、サービス産業の生産性向上が課題となっている状況。

○IT等を活用したサービス産業の生産性向上

①サービス等生産性向上IT導入支援事業

中小企業等の経営力を向上させ、地域における未来投資を促進するため、中小企業等の生産性向上に係る関連施策とも連携しつつ、バックオフィス業務等の効率化や新たな顧客獲得等の付加価値向上に資する**ITツール、アプリ等の導入を支援**し、生産性向上を図る。

平成28年度2次補正予算額100億円の予算規模で、ソフトウェア、サービス導入費を対象、補助率2/3以内、上限額100万円、下限額20万円という使い勝手の良さがあり、公募・採択の時期は1次公募が3月、2次公募は8月に採択。



②調査事業（IoT等を活用した食関連サービス事例集）

IoT、IT技術を活用することで、業務効率化や付加価値向上などの生産性向上につながった企業の事例を収集し、事例集を作成。全国17の事例を紹介している。

この調査で、IoT、ITを導入しているサービス事業者は17%で、**導入したいができていない事業者が4割存在**することが分かった。また**導入にあたっての課題は、IoT等に関する人材不足、知識不足とを感じる事業者が多い**ことも分かった。

○サービス産業の生産性向上を支援する経済産業省の施策

①おもてなし規格認証

サービス事業者の品質を「見える化」することで、品質向上を図る。格付け順に紫認証、紺認証、金認証、紅認証があり、認証にあたっては30の規格項目中、いくつかの項目が該当しているか審査を行う。紅認証ではセルフチェック、金認証以上では認証機関による審査が行われる。平成29年7月末現在、全国34,111件、うち近畿管内6,328件取得。

②日本サービス大賞

企業のイノベーションを促進し生産性を高めるためには、**成功事例の横展開が重要なため、ハイレベルでの表彰制度を創設し、強力に情報を発信する。**

アンケートでの主な意見

○事業性評価の取組みの中で企業の課題解決のために案内することに、よろず支援拠点や中小機構を活用したいと考えます。

○中小機構による施策の中で、現場改善支援事例について取引金融機関の取組実例が聞けて良かった。今後、是非取引先に紹介したいと思います。

○ITを活用したサービス業の生産性向上について、補助金の活用方法についてわかり易かった。



3. 最後に

皆さまのご協力をもちまして、今回のセミナーも盛況のうちに終了することができました。改めてお礼申し上げます。

今後も、地域経済の発展のため、国等の産業支援施策の積極的活用に向けたセミナーを開催していきたいと思ひます。

どうぞご期待ください。

今回の企画でお世話になった方々、本当にありがとうございました。

近畿経済産業局 中小企業課 中村課長補佐

中小機構近畿本部 経営支援部経営支援課 能登課長代理

中小機構近畿本部 経営支援部経営支援課 植田プロダクトマネージャー

兵庫信用金庫 業務部経営サポート室 後藤推進役

近畿経済産業局 産業部 クリエイティブ産業ユニット 吉田総括係長

TEAM よびみず（中川・石村・西津・狩野・向日・谷口）

※TEAMよびみずとは「財務局が省庁、金融機関等に声をかけ、産業を支援する呼び水になる取組みを通して地域に潤いをもたらしたい。」という願いを込めて命名した、近畿財務局若手職員で構成する地方創生ユニット。